

ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任

2022年度の担当科目一覧表

科目区分 (教養/専門/教職)	科目名	種別 (必修/選択)	開講時期	受講者数
専門	生涯学習概論	選択	1年前期	46名
専門	図書館概論	選択	1年前期	49名
専門	図書館サービス特論	選択	1年後期	37名
専門	図書館実習(含事前事後指導)	選択	2年通年	29名
専門	図書館情報資源特論	選択	2年後期	28名
専門	図書・図書館史	選択	2年後期	27名
専門	プレゼминаール1	必須	1年前期	44名
専門	プレゼминаール2	必須	1年後期	44名
専門	卒業研究1	必須	2年前期	8名
専門	卒業研究2	必須	2年後期	8名
教養	太宰府地域学—万葉集を楽しく知ろう—	選択	1年前期	27名
教職	教育行政	選択	2年前期	24名

*科目区分：「教養」、「専門」、「教職」の3つから指定すること。

*種別：「必修」、「選択」の2つから指定すること。なお、選択必修は「選択」とする。

2. 教育の理念

司書及び学校司書の資格取得を目指す学生には、図書館学の基礎から専門分野に至るまでのさまざまな領域の知識と技能を習得し、図書館学に対する探究への関心を深めるようになることを教育目標としている。また、教職科目を受講する学生には、教育行政の仕組みと役割を理解して、教育現場での教育実践に寄与できる知識の習得を教育目標としている。

3. 教育の方法

図書館学の科目及び教職科目では、パワーポイントによる講義だけでなく、図書資料、写真やDVDなどの視聴覚教材を用いるとともに、グループディスカッションやOHPによる個人発表など多様な講義方法を用いて授業を行っている。また、図書館実習では、外部講師の指導のもと、展示の際に活用するPOP作成も行った。2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、グループディスカッションなど3蜜を伴う恐れがあるものは実施できなかった。

4. 教育の成果

図書館実習では、図書館学の授業で学んだ知識や技能を使い、図書館現場でのサービスを実体験することができたこと、授業での学習内容の意義を確認することができたことが有効であったという学生の報告が図書館実習記録に多く見られた。

また、図書館実習で製作した POP の作品を書店に展示することで学修成果の発表につなげることができた。

卒業研究では、個々の学生が抱えている図書館学への関心あるテーマを深く探究することができていることが、卒業研究発表会や卒業論文で確認することができた。

教育行政では、教育現場でのさまざまな課題を明らかにし、それらの課題解決を果たす役割を有している国や教育委員会の組織について学ぶことができた。

5. 今後の目標

できるだけ図書館や学校教育の現場に沿った授業を行うように、さまざまな情報やデータを可視化した方法で提供できるように努める。

6. 根拠資料

- シラバス
- 授業資料
- 授業評価アンケート結果
- 授業改善計画書
- その他

各科目の課題提出レポート、図書館実習記録、POP 作品、卒業論文